

30年オープンに向けて

仮称

新生涯学習施設の建設進む



《3月定例会》

2月23日から3月17日までの23日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された議案33件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計予算

29年度一般会計予算規模は、白岡市史上最大の150億円で、前年度より3.4%の増となりました。

《平成29年度の主な事業》

- ★生涯学習施設整備の促進
- ★小・中学校のエアコン導入着手
- ★任期付市費負担教職員の任用
- ★こども医療費の拡充
- ★新たな民間認可保育所の整備支援
- ★西小学校に第二児童クラブ開設
- ★新白岡駅西口公衆トイレの整備
- ★ふるさと納税制度の強化
- ★新たな土地利用の検討・推進
- ★企業・大学との連携事業拡大

問 大山・菫莪地域活性化推進事業における人材育成の内容は。

答 地域活性化の施策提案事業と人材育成事業の2つがあり、人材育成事業は、大山・菫莪地区にお住まいの各20名を募集し、地域活性化に向けた人材育成の研修を行う。

問 防犯灯のLED化率の状況は。

答 29年2月末時点で17%である。

問 新白岡駅前に連絡所を開設する検討は。

答 要望があることは承知しているので、関係部署と協議し検討していく。

問 賃貸物件による保育所整備事業について、90人定員の保育所が開園とのことだが、待機児童の解消になるのか。

答 数字的にはゼロになるはずだが、新たな整備が潜在的需要を掘り起こしていることから、入所申請の増加が見込まれ、待機児童が発生する可能性がある。

問 シルバー人材センターは、助成金がなければ赤字であるが、解消のため何か方針は。

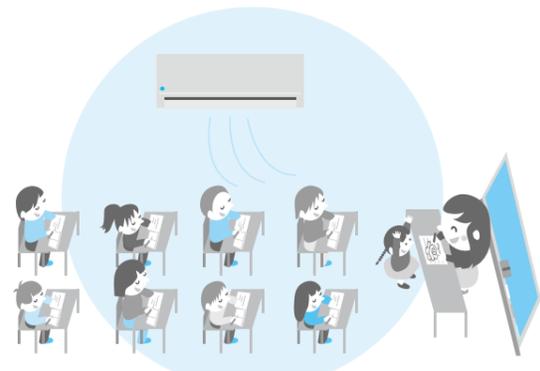
答 ほとんどが人件費であり、自助努力で売り上げを伸ばすよう指導している。

問 のりあい交通の収支率と利用者の状況は。

答 28年度は収支率18.3%、利用者8,881人、1日当たり33.3人である。

問 エアコン導入調査事業の具体的内容は。

答 導入する教室の検討、国の交付金などの活用方法、先事例の調査・研究、導入手法の整理、概算工事費、導入後のランニングコストの試算などを実施する。



問 排水路等維持管理事業による事業内容は。

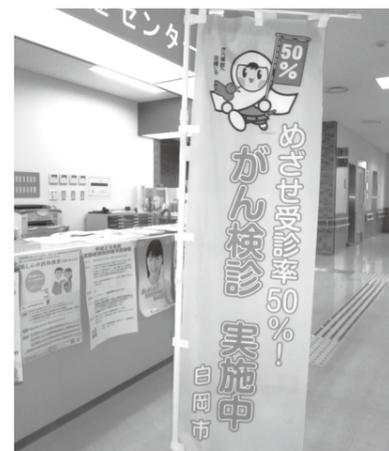
答 除草業務を年2回実施し、清掃は定期的実施しているが、苦情のあった場所については、優先して清掃している。

問 白岡駅西口地域整備推進事業は、どの程度すすんでいるのか。

答 駅から市道5058号線までの間に、土地と建物をあわせて21件ある。建物17棟のうち1棟分について、用地買収と移転補償を実施した。

問 がん検診の受診率は。

答 26年度は、子宮がん検診31.1%、乳がん検診32.5%で、おおむね県平均である。胃がん、肺がん、大腸がんについては、県の平均受診率より低い状況である。



この次と言わずに、今こそがん検診

問 公債費は、前年度比で減少しているが、市債残高は、28年度より増加に転じている。今後の財政の見通しは。

答 市債については交付税措置があるかを判断基準のひとつにしている。借入れは、既に発行済みの市債の償還額とのバランスなどを考慮し、償還年数の設定、低利での借入れ償還額の平準化を目的とした措置期間の調整などの工夫をしている。

問 商工観光アプリのその後の状況は。

答 登録数は51件となっている。件数増加のため、商工だよりを活用し、募集チラシを市内の事業所向けに周知した。



問 耐震性のない住宅は何棟あるのか。

答 住宅・土地統計調査のデータを基に推計すると9%で、約1,800棟である。

問 市税である個人税・法人税は前年度から1億24万8千円の増額となったが、要因は。

答 個人税は、過去1年で納税義務者が500人以上増加したことによる。法人税は、景気の動向や市内企業の業績を予測し前年度より増額した。

反対討論

学童保育所の新設や住宅・店舗リフォーム補助など、評価できる施策もありますが、エネルギー、産業政策の充実など推進すべき課題も残っています。また、同和対策事業は一般行政に移行させるべきです。消費税10%への引き上げについては反対すべきです。

賛成討論

雇用・所得環境の改善が続く中で、市税が2億円強の増額となるなど明るい兆しがみられる一方、地方交付税や国庫支出金は減額となっている。きびしい財政状況下ではあるが、市のさらなる成長、発展をめざし、積極的に編成された予算だと高く評価する。